

# 沖繩經濟同友会

## 「第1回沖繩大交易会」

### 視察報告書

平成26年12月

主催：地域・経済活性化委員会

## 1. 視察目的

沖縄県では、県産品の販路拡大に向けた商品の高付加価値化や海外向け販売力強化を目的に県内生産者の海外派遣および海外バイヤーの招致に取り組むなど、沖縄国際ハブ機能活用促進に向けた様々な施策を積極的に展開しております。その一環として、日本最大規模の『食』をテーマにした国際商談会である「沖縄大交易会」（主催：沖縄県、沖縄懇話会）が11月27日（木）～28日（金）の2日間開催されました。

昨年のプレ大会に引き続き、沖縄国際ハブ機能活用促進に向けた施策について理解を深めることを目的に、運営会社である(株)沖縄コングレ様（当会会員企業）ご協力の下、「第1回沖縄大交易会」視察を行いました。

※「沖縄大交易会」は、平成2年に「本土と沖縄の経済人で交流を深める」という趣旨のもと発足された「沖縄懇話会」の創立25周年を記念し開催された催事でもあります。

## 2. 視察日程・スケジュール等

日 時：平成26年11月28日（金）10：30～13：00

視察先：「第1回沖縄大交易会」会場

- ・沖縄コンベンションセンター展示棟（フリー商談会）
- ・宜野湾市立体育館（個別商談会）

当日スケジュール：

9：50	沖縄県議会前集合（パレット久茂地向かい、那覇市役所となり）
10：00	出発
	～沖縄コンベンションセンターへバスで移動～
10：30	沖縄コンベンションセンター到着
10：30～11：30	フリー商談会視察（展示棟にて） 個別商談会視察（宜野湾市立体育館にて） ※個別商談会については、まず開始前の会場内を視察
11：30～12：30	昼食（展示棟隣：レストラン「たいよう市場」にて） ※「たいよう市場」は今年3月視察した「あいあいファーム」の (株)アメニティが運営する県産野菜を豊富に使ったレストラン
12：30～13：00	個別商談会視察（宜野湾市立体育館にて） ～解散場所へバスで移動～
13：30	沖縄県議会前到着・解散

昨年のプレ大会の視察では現地集合解散とし、渋滞で大幅に遅延したため、那覇市久茂地を集合解散としバスツアーで行いました。

### 3. 参加者名簿

(敬称略)

No.	氏名	当会役職	会社名・役職
1	東 良和	担当副代表幹事	沖縄ツーリスト(株) 代表取締役会長
2	池端 透	委員長・常任幹事	(株)りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長
3	新垣 浩一	会員	(株)りゅうぎんディーシー 代表取締役社長
4	飯沼 武	会員	三井住友海上火災保険(株) 沖縄支店長
5	稲嶺 有晃	常任幹事	東亜運輸(株) 代表取締役社長
6	島袋 薫	会員	(株)沖縄エネテック 代表取締役社長
7	富原 加奈子	会員	りゅうせき商事(株) 代表取締役社長
8	永多 真	常任幹事	丸紅(株)那覇支店 支店長
9	松野 知之	常任幹事	日本銀行那覇支店 支店長
10	丸橋 弘和	会員	エアポートトレーディング(株) 代表取締役社長
11	諸見里 道浩	会員	(株)沖縄タイムス社 専務取締役
12	山川 朝賢	会員	(株)アイディーズ 代表取締役社長
13	吉田 健夫	会員	大成建設(株)九州支店沖縄営業所 営業所長
14	尚 諭	準会員	(株)りゅうせき 取締役石油販売本部長
15	玉城 祐一	準会員	(株)りゅうせき 取締役事業開発本部長
16	神谷 淳次	会員企業	エアポートトレーディング(株) チーフ
17	久高 豊	会員企業	(株)りゅうぎん総合研究所 常務取締役
18	佐久本 盛扶	オブザーバー	(株)オーエスジー 調査企画部長
19	佐藤 由美子	会員企業	沖縄ツーリスト(株) 大阪支店長
20	田場 繁	会員企業	(株)りゅうせき 新規事業担当次長
21	真壁 美和	会員企業	(株)りゅうせき 新規事業担当調査役
22	森山 雄太	会員企業	日本銀行那覇支店
23	与儀 達樹	会員企業	大同火災海上保険(株) 業務部長兼あんしんあんぜん推進部長
24	山城 克己	オブザーバー	島村屋観光公園(伊江島) 代表
25	比嘉 正彦	事務局長	沖縄経済同友会事務局
26	石垣 卓哉	事務局次長	沖縄経済同友会事務局
27	又吉 章仁	事務局研究員	沖縄経済同友会事務局

## 4. 視察の様子

### 《フリー商談会》



フリー商談会場（展示棟）前で入場手続き後、(株)沖縄コングレ様によるアテンドで会場入り。その後、フリー商談会場2階から、運営会社であり当会会員でもある(株)沖縄コングレのジョンソン美枝常務、濱田泰信氏に昨年のプレ大会との違いを中心にご説明いただきました。

昨年大会と比較し、1.5～2倍規模での開催となります。昨年は展示棟のみでの開催で、展示ブースと個別商談会場を半分ずつにしました。今年はサプライヤー200社（うち県外114、県内86）、バイヤー161社が参加し、参加企業は昨年（233社）を128社上回る361社となりました。そのため、今年は展示棟全域をフリー商談会場、体育館側を個別商談会場としました。展示棟と体育館間の移動は徒歩となるが、雨の場合も考慮し、バスでの移動もできるようにしています。そのため、展示棟と体育館間のブロックを取り外しています。しかしながら、現在の状況では、コンベンションセンターのみでは開催できず、体育館まで必要となっており、大型MICE施設の建設が課題となっています。

※開催期間（2日間）の商談は約1900件。（昨年はサプライヤー131社（うち県外61、県内70）、バイヤー102社、商談1840件。）



会場MAP：「第1回沖縄大交易会」会場ガイドブックより

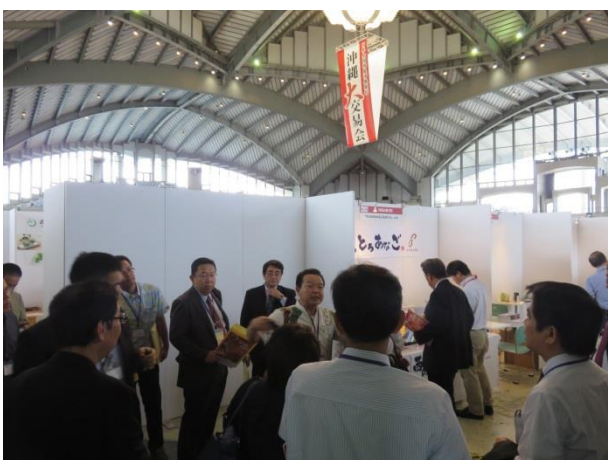




説明を熱心に聞く視察参加者



フリー商談会場の様子



とりあえずは、集合場所・時間を決め、各自自由行動。



サプライヤー(出展企業)のブースを回るバイヤー。各企業の担当者から熱心に説明を受けていました。



【写真左】北海道の「雪どけチーズケーキ」を試食する視察参加者。



【写真右】 展示ブースに設置された冷凍ショーケース。昨年大会では、会場内に冷凍・冷蔵用スペースがなかったため、通常用具置き場になっている場所を空けて専用什器を搬入し保冷用バックヤードに保管していましたが、今回はスペースが確保されていました。写真は北海道の「ズワイガニ」



## 《個別商談会》



個別商談会は少し離れた宜野湾市立体育館で開催のため、徒歩で移動。  
展示棟と体育館間の移動は徒歩3～4分。雨の場合はバスでの移動を余儀なくされる。

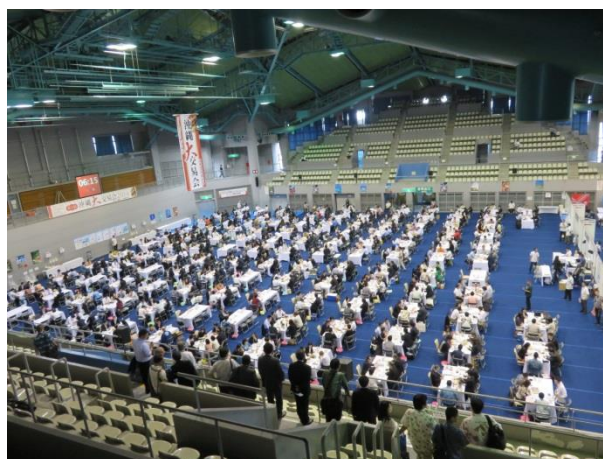


商談中は会場内には入れないため、開始前に会場内に入れてもらいました。海外では商談テーブル間の距離が厳格に規定されている商談会もあり、沖縄ではスペースが狭く、一定の距離が確保できないため、隣の商談内容が聞こえるとの理由から開催（参加）を見合わせるケースもあるとのこと。

今回は、バイヤーとサプライヤーが事前に商談調整する専用のビジネスマッチングサイトが構築されており、当日の商談はスムーズに行われていると説明がありました。



【写真左】各商談には30分の制限時間があり、開始と同時にカウントダウンが始まります。



【写真右】2日間の大会日程のうち、視察当日は2日目で、午後から個別商談会開始ということもあり、会場は熱気につつまれ、参加者の商談成立に懸ける意気込みが伝わってきました。また、サポートブースではバイヤーとの商談を進める上での物流、関税、検疫、法律などの相談に対応できるようになっていました。

## 《バックヤード》



『食』の商談となるため、調理が必要となります。会場には調理専用スペースがないため、特設ブースとしてテントが設置されていました。特設ブースのため調理方法にも制限があり、電子レンジで温める程度の簡単な調理しかありませんでした。



商談で取り扱う食料品(一部)は冷凍・冷蔵用スペースとして保管されていました。昨年大会同様、通常用具置き場になっている場所を空けて専用什器を搬入し保冷用バックヤードとして利用しているとのこと。今年は会場内にもスペースを確保できたため、バックヤードでの保管数量は昨年よりは少なく、昨年は電源不足で扇風機で冷やしていましたが、今年はそのまでの対応はなかったようです。しかしながら、今後しっかりしたバックヤード機能を備えた商談会場が必要であることを再認識しました。



バイヤー専用の昼食会場の様子。特に各地の食材を扱っているのではなく、食べやすい食事になっているとのこと。





個別商談会場(宜野湾市立体育館)横に設置した雨対策用のテント。バスから降りた後、雨に濡れないようすぐにテント内に行けるよう対策が施されていましたが、テントは市販のテントをつなぎ合わせており、背中を丸めながら通るのがやっとの状態でした。

当日の視察時間は曇行きは下り坂でしたが、何とか天気は持ちました。

## 5. 総括



池端透委員長より、「本日は大交易会2日目となるが、前夜祭・初日から盛り上がった様子に感じられました。昨年のプレ大会の課題を活かし、かなり修正されており、商談の成果が期待できると思う。今年の本大会でもいろいろな課題があったかと思いますが、いい商談会にして、ぜひ沖縄の発展に繋げていければと思う。」とのコメントがありました。



東良和担当副代表幹事より、「昨年のプレ大会と比較し、ソフト面は大分改善されていると思うが、ハード面が依然としてまだまだだと感じました。新しい大型MICE施設が建設されるまでは待てないと思う。冷凍・冷蔵部分はすぐにでも公的な支援を整備しないといけない。本日はいい視察となりました。」とのコメントがありました。



## 6. 所感および謝辞

昨年のプレ大会では、展示棟のみで展示ブースと個別商談会の両方を開催できましたが、今年の本大会では参加企業も増え、規模拡大に伴いコンベンションセンターのみでは開催できず、体育館まで必要となっており、同一催事にも関わらず、双方の会場間を移動せざるを得ないという不便さがありました。会場間をバスで行き来できるようにしていましたが、やはり一体化した大型MICE施設が必要であること、さらに、商談会場と参加企業が宿泊するホテルが隣接している場所が利便性の点から望ましく、この点を踏まえたMICE施設の立地が課題だと感じました。

一方、昨年のプレ大会の成果と課題を踏まえ、専用のビジネスマッチングサイトを構築し各企業の情報を公開したことで、希望相手と商談できる割合がアップしたとのこと。個別商談会の設定時間30分は短いとの意見もあるようでしたが、商談はスムーズに行われているようであり、ビジネスマッチングサイトの効果が表れているようでした。

新しい大型MICE施設の建設はまだまだ先だと思われます。当面の間は現行の展示施設をうまく利用する必要がありますが、各国のバイヤーが来年もまた参加したいというような国際商談会にしていきたいです。

最後に、本視察にご協力いただいた以下の(株)沖縄コングレ様には大変お世話になり、ありがとうございました。重ねまして心よりお礼申し上げます。

- ・ ジョンソン 美枝さま (株)沖縄コングレ 常務取締役)
- ・ 濱田 泰信さま (株)沖縄コングレ コンベンション事業部)

沖縄経済同友会会員・事務局一同